



平成 22 年 8 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社 クリムゾン
(JASDAQ・コード番号：2776)
代表者名 代表取締役社長 姚 健
問合せ先 専務取締役 児玉俊明
電 話 03-5637-0505

営業外収益及び法人税等還付税額の計上、繰延ヘッジ損失の発生ならびに
平成 23 年 1 月期第 2 四半期累計期間業績予想(非連結)の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 1 月期(平成 22 年 2 月 1 日～平成 23 年 1 月 31 日)第 2 四半期(平成 22 年 5 月 1 日～平成 22 年 7 月 31 日)におきまして、営業外収益を計上する見込みとなり、また、法人税等の還付がございましたので、その概要をお知らせするとともに平成 22 年 3 月 16 日付「平成 22 年 1 月期決算短信(非連結)」にて公表しました業績予想(非連結)を下記の通り修正いたします。

記

1. 営業外収益の内容及びその金額について

当社は、平成 22 年 3 月 12 日付「特別損失及び法人税等還付税額の計上ならびに、平成 22 年度 1 月期通期業績予想(非連結)の修正に関するお知らせ」にて開示いたしました特別損失のうち、不採算店舗の閉鎖に伴い中途解約費用及び原状回復費用を計上いたしておりましたが、第 2 四半期累計期間(平成 22 年 2 月 1 日～平成 22 年 7 月 31 日)に閉鎖しました店舗においてデベロッパー等との交渉の結果、実費用が減額となり差異が生じたので、店舗閉鎖益として 31 百万円の計上となりました。

2. 法人税等還付税額の内容及びその金額について

当社は、平成 19 年 10 月 2 日付「業績に影響を与える事象の発生について」にて開示いたしました通り、過年度に在庫評価額を過大計上しておりましたが、先般、東京国税局の調査を受け、過大計上分の利益を減額更正された事により地方税還付があり、24 百万円の計上となりました。

3. 業績予想の修正について

平成 23 年 1 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正
(平成 22 年 2 月 1 日～平成 22 年 7 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,741	△30	△50	△65	円 銭 △2,693.41
今回修正予想 (B)	2,915	△55	△17	△21	円 銭 △872.92
増 減 額 (B-A)	174	△25	32	43	
増 減 率	6.3	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 1 月期第 2 四半期)	3,950	△350	△343	△227	円 銭 △9,420.63

4. 業績予想修正の理由について

売上高につきましては卸事業を中心に概ね予想通りに推移いたしました。しかしながら営業利益につきましては、売上高の増加に伴い販売費及び一般管理費につきましても増加したことの影響により当初予定を下回る見込みであります。また、経常利益につきましては営業利益減少の影響を受けたものの、「1. 営業外収益の内容及びその金額について」で、ご説明させて頂きました通り店舗解約違約費用及び原状回復費用の差額により店舗閉鎖益として 31 百万円の計上により当初予想を上回る見込みであります。当期純利益につきましては、「2. 法人税等還付税額の内容及びその金額について」で、ご説明させて頂きました通り、過年度申告所得金額等の更正による地方税の還付金、24 百万円の計上があり当初予想を上回る見込みであります。

尚、平成 23 年 1 月期通期業績予想につきましては、依然として景況感が不透明な事などを踏まえ保守的に勘案し通期業績予想の修正は行ないません。

5. 繰延ヘッジ損失の発生について

当社は、輸入コストの安定を図るために長期為替予約を結んでおりますが、当第 2 四半期において円高の影響による為替予約の時価評価に伴う繰延ヘッジ損失が 23,733 千円発生しました。

以上